

国谷 裕子（くにや ひろこ）

公益財団法人 自然エネルギー財団 理事

2017年9月1日就任



経歴

1979年米国ブラウン大学を卒業後、81年よりNHK「7時のニュース」英語放送の翻訳・アナウンスを担当。88年、NHKの「ニュース・トゥデイ」国際担当キャスター。89年、NHK衛星放送「ワールドニュース」キャスター。93年から2016年3月までの23年間、NHK総合テレビの「クローズアップ現代」のキャスターを担当。この間、特別番組や「NHKスペシャル」等、報道番組のキャスターも務める。2016年4月から東京芸術大学理事、テイラー・アンダーソン記念基金理事、米日カウンシル評議員会評議員を務める。2017年5月に国連食糧農業機関（FAO）親善大使に就任し、持続可能な開発目標（SDGs）の啓発活動などに取り組む。

1998年放送ウーマン賞、02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞、16年ギャラクシー賞特別賞など受賞多数。

## テーマ別 ディスカッション① 登壇者（敬称略）

### モデレーター

**大塚 隆志（おおつか たかし）**

イクレイ日本 事務局長

ドイツ・ボンに本部を置くイクレイ（ICLEI：持続可能性をめざす自治体協議会）の日本事務所にて事務局長を務める。（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）、国連環境計画（UNEP）等での勤務を経て、2015年4月より現職。



### エンジャン・ムルヤナ

バンドン市（インドネシア共和国）

バツヌンガル地区長

インドネシア共和国バンドン市職員として、社会局、交通局での経験を経て2016年より現職。ストリートチルドレンに関する小論を多数執筆し、現地NGOと協力した対策事業にも従事。



### 柳原 聡子（やなぎはら さとこ）

富山市政策監

環境未来都市推進、中心市街地活性化推進、地方版総合戦略策定・地域再生計画推進、シティプロモーション推進を担当。1985年通商産業省（現：経済産業省）に入庁、2015年5月富山市政策監に就任。



### 多田 知幸（ただ ともゆき）

JICA 中部 連携推進課 専任参事

JICA 中部国際センターで草の根技術協力、日本の民間企業と連携した途上国開発支援事業に従事。1993年に国際協力事業団（当時）に入団。以後、東南アジア地域を中心にコミュニティ開発、貧困削減等の分野で、技術協力事業や無償資金協力事業に従事。



### 杉山 基明（すぎやま もとあき）

豊田市副市長

2016年4月より現職（1期目）。担当部署：経営戦略部、企画政策部、総務部、市民部、地域振興部、生涯活躍部、子ども部、環境部、福祉部、保健部、産業部、消防本部、教育委員会ほか



## テーマ別 ディスカッション② 登壇者（敬称略）

### モデレーター

#### 梅嶋 真樹（うめじま まさき）

豊田市つながる社会実証推進協議会アドバイザー  
豊田大学 政策・メディア研究科特任准教授

JSCA（ジャパン・スマート・コミュニティ・アライアンス）インドネシア・バンドン研究所長として ICT インフラ設計における日尼両国企業との協働を推進。



#### チャウダリー・ルドラ・チャラン・モハンディー

国際連合経済社会局 国際連合地域開発センター(UNCRD)  
環境プログラムコーディネーター/エキスパート

アジアにおける環境的に持続可能な交通（EST）、アジア・太平洋地域における 3R（リデュース、リユース、リサイクル）、地方自治体の廃棄物管理サービスを拡大するための国際パートナーシップ（IPLA）事業を担当。



#### ブンチャイ・スティットマナイトム

チュラロンコン大学（タイ王国）副学長

1992 年東京大学にて工学博士号を取得。土木学を専門とし、建築資材からの建物の持続可能性について研究。また、大学キャンパスにおける持続可能性（サステイナブル・キャンパス）の推進にも携わる。



#### 岡山 豊（おかやま ゆたか）

トヨタ自動車 コネクティッドカンパニー BR MaaS 事業室 主査

トヨタにてサステイナブルモビリティプロジェクトを推進。官民学と市民の連携による交通マネジメントによる渋滞緩和「Sathorn Model Project」、チュラロンコン大学との超小型 EV シェアリング「CU TOYOTA Ha:mo」等。2018 年 1 月より現職。



#### 磯谷 裕司（いそがい ひろし）

豊田市副市長

2016 年 6 月より現職（1 期目）。担当部署：経営戦略部、企画政策部、総務部、都市整備部、建設部、上下水道局

